



## 元日

元龍谷大学講師 辻本 敬順

新年、おめでとうございます。

「一年の計は元旦にあり」という

諺があります。皆さんは、今年、

どんな計をお立てになったのでしよ

うか。「今年から日記をつけよう」

「今年から禁煙をしよう」「今年か

ら禁酒をしよう」などなど……。

しかし、あまり成功した試しがない

のです。皆さんはどうですか。

この諺は正式には、

一日の計は朝にあり、

一年の計は元旦にあり

と言います。一日をどう過ごすか

という計画は朝に、一年を通して

どう過ごすかという計画は元旦に

立てるのがよい。何事にも初めが

肝心で、初めに周到な計画を立て

準備をするべきである、という意味

の諺です。

中国には、

一年の計は春に存り、

一生の計は勤（勤め）に在り、

一日の計は寅（早朝）に在り

という文があります。ここでいう「計」

は「生計」のことで、「二年の生計は春

の耕作にかかっている。もし、春に耕さ

なかつたならば、秋の収穫は望めない。

同じように、一日の生計は早起きに、

一生の生計は若いときの勤勉にかかつて

いる」というのです。

お釈迦さまの弟子サミツデイは、

王舎城の温泉精舎にいました。そこへ天

人がやつて来て、「お釈迦さまに『一夜

賢者の偈』を教えてもらえ」と言いま

す。その偈が『大迦旃延一夜賢者経』

にありました。

過去を追うな。

未来を願うな。

過去はすでに捨てられ、

未来はまだ来ない。

だから、ただ現在のことを

ありのままに観察し、

動揺することなく、

よく理解して、実践せよ。

ただ今日すべきことを熱心になせ。

明日、死のあることを誰が知ろうか。

かの死神の大軍と

会わないわけはない。

このように考えて、熱心に

昼夜おこたることなく励む人、

このような人を一夜賢者といい、

寂静者、寂黙者と人はいう。

（『阿弥陀経のことばたち』三六頁 参照）

新しい年を迎えて、こころ新たに決意

を固めるのはたいへん素晴らしいことだ

が、それを実行するのは、今日一日の

生き方にかかっているようです。一年は

一日一日の積み重ねですね。

『行事故話集 人生の折々に』（本願寺出版社）より引用

令和五年一月に、山門前の伝道掲示板へ、

【今年こそ】は「今日こそ」の積み重ね】

と書きしました。併せてご紹介いたします。住職